

再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム
令和4年度第3回 CIREn 評議会 開催結果

日 時：令和5年3月13日（月）14:00～14:45

方 法：Web 会議

出席者：

（委 員）佐藤委員長、山田委員、泉委員、永尾委員、森委員、川崎委員、原委員、
野間委員、池上委員、大渡委員、田中委員、白石委員、山津委員

（事務局）佐賀大学工学部 松永事務長、椛島係長、川副氏
佐賀県新エネルギー産業課 村上副課長、谷口係長、中山主事

1 開会

2 議事

議事1 令和5年度 CIREn 予算について

○事業 PR 予算の確保について

増額となった令和5年度 CIREn 予算の内訳の一つとして、事業 PR 予算（新規）の確保したいことを説明した。

<委員からの意見>

- 交流会後の飲食を充実させてほしい（これまでコロナ禍でできなかった）。
- 予算が増額となったのは良いことだ。
- 分科会の活動をサガテレビに取材に来てもらうのはどうか。
⇒事務局検討
- 県民への PR は、県としても重要視しているので必要な予算。

議事2 研究支援事業の公募について

○研究支援上限額変更及び評価ポイントの追加について

CIREn が目指す製品化へ向け、支援事業費の上限を 500 万円としたいこと、支援事業の評価ポイントを増やす方向性を説明した。

<委員からの意見>

- 500 万円上限は、製品化に向けて良いと思う。
- 2 期目の流れとして良いと思う。
- 調査研究を地道に進めている分科会もあるので、いたずらに分科会を減らしたり、支援しない方向に動くのも良くないので、バランスを見る必要がある。製品化に向けて進んでいるところを手厚く支援するのは良いと思う。
- 評価ポイントとして、知的財産の見込み（権利化・外部資金への繋がり）を追加するのはどうか。
⇒事務局検討
- 評価ポイントを絞りすぎるのも良くない。これまでの実績を PR する項目を増やしても良いのではないか。

報告事項1 令和5年度研究支援事業の運用について

事務局から、今後の予定を説明した。議事2の評価ポイントの結論次第で、研究支援事業公募が遅れる可能性がある。

→委員から意見等なし。

3 その他

<委員からの意見>

総会で5分程度分科会のプレゼン時間があっても良いのではないか。

⇒事務局検討

4 閉会